

NTK てっこう長野 Vol.41

2022年1月

製作:長野県鐵構事業協同組合
E-mail: jim2014@na-tetsu.jp

TEL.026-228-5748
FAX.026-228-0590



かまくらの里

レストランかまくら
“20畳”程のかまくら

かまくら神社

かまくらの中で地元野菜で作った名物“のろし鍋”

※レストランかまくら村 2022年1月21日(金)~2月27日(日) 要予約 写真提供:北信支部(有)アオキビルド 青木久隆氏 提供



理事長あいさつ	2
顧問県議と行政の懇談会	3
組合員だより(南信支部)	8
理事会、委員会だより	10
青年部会だより	11
Mグレード部会だより	12
工場認定申請及び予定状況	13
令和3年度前期技能検定について	15
組合からのお知らせ(受賞者紹介)	16
事務所移転のお知らせ	17
組合からのお知らせ(訃報・組合員数)	18
編集にあたって/表紙のことば	19

理事長あいさつ

世界動向が鉄骨産業にも影響



長野県鉄構事業協同組合
理事長 飯島 正博

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃は長野県鉄構事業協同組合の事業並びに会員企業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は新型コロナの影響を強く感じる年になりました。東京オリンピックは無観客開催により経済効果は、ほとんど現れず、コロナ第5波に伴った行動制限の影響は、消費意欲を低下させて景気停滞が続くこととなりました。アメリカや中国がいち早く景気回復を見越した原料や資材の需要急増の影響を受け、日本でも物価高が進んでいます。また10月には全国一斉に緊急事態宣言が解除され、経済活動が本格的に回復することへの期待が大きい中で、原材料価格の高騰は企業の設備投資意欲の減退とならないかが心配されます。私共鉄骨業界もコロナ渦の中でテレワークの普及などライフスタイルの変化に伴って物流関連施設の需要は旺盛であったものの、一方では中小規模の鉄骨需要が減少す

るなど一長一短の年でした。また、年度始めから鉄骨材料の価格高騰と入手難、納期の長期化という状況により鋼材環境が一変しました。私共の上部団体である全国鉄構工業協会でも、材料メーカーに対して問題解決への要望を行いました。価格高騰は一過性のものでなく、地球環境問題などを背景とした構造的な問題であること。材料入手難については、長期的な内需減少を踏まえて構造改革として生産能力の削減を進めていることによるものであるとの説明を受けています。このことから2022年も今の状況はしばらく続くものと考えられます。材料商社との材料調達の打合せを綿密に行ったり、材料手配のための図面作成に早期に着手したりなどで対処していますが、一企業の努力だけでは限定的であります。発注元様のご理解をいただきつつ業界一体となって問題解決を図っていきたいと考えています。本年も、変わらぬご指導・ご協力をお願い致します。皆様のご健勝とご多幸を御祈念申し上げます。



顧問県議と行政の懇談会

本年度の顧問県議と行政との懇談会については以下の日程で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により急遽中止とさせていただきます。

昨年度、コロナ感染の拡大によりご出席の皆様様の安全と感染拡散を防ぐため、計画していました懇談会を中止致しましたので、今年度こそ開催をと願って準備を進めておりました。そんな中、年明けと共に新種のコロナ株の発生により再び感染拡大していますので、このような状況の中での開催について検討致しました結果、大変残念ではありますが二年続けての懇談中止という結論に至りました。

なお懇談会にて組合より長野県建設部の皆様に質問させて頂く予定だった内容につきまして、改めて建設部ご担当の皆様よりご確認とご回答を頂きましたので、ここに掲載させていただきます。

お忙しい中、ご対応を頂きありがとうございます。

「顧問県議と行政の懇談会」 開催中止

開催日：令和4年1月25日(火)

開催場所：長野ホテル 犀北館

顧問県議：風間 辰一 県議(北信)

萩原 清 県議(中信)

平野 成基 県議(東信)

佐々木 祥二 県議(南信)

行政出席者：長野県建設部

建築技監 小林 弘幸 様

長野県建設部施設課

課長 塩入 一臣 様

長野県建設部建築住宅課

主任専門指導員 久保田 達也 様

質疑と回答

質問 1

建設業に関わる長野県内の雇用状況、また、人材不足・雇用について県としての取り組み、外国人労働者雇用に対しての支援や補助。

回答

- ・長野労働局によれば、県内の雇用状況については、令和3年11月の有効求人倍率(季節調整値)は1.38倍、有効求人数(同)及び有効求職者数(同)は前月に比べそれぞれ0.2%、0.4%増加しており、全体として「雇用情勢は、一部に弱い動きが続いているものの、着実に改善が進んでいる。」とされています。
- ・同じく11月の産業別新規求人の状況を見ると、建設業では新規求人数1,405人で前年同月比7.3%の増、前月比で21.0%の減となっています。
- ・また、県内の建設業の就業者数は、H27時点で80,559人と、20年前(H7)の132,382人と比べ約4割減少しており、その構成も29歳以下が全体の約1割、55歳以上が約4割と高齢化が進んでいます。
- ・建設部全体では、次世代を担う人材確保に向けた各種取組として、生産性向上や働き方改革などの新たな建設業の姿を発信しながら、若い世代に建設業の魅力を伝えるため、関係

顧問県議と行政の懇談会

団体と協力しながら建設系学科の高校生を対象に、実際の建設現場で自ら一連のプロセスを実践する機会を提供しています。最近では更に若い中学生の「職場体験学習」と連携した魅力発信の取り組みを行っています。

- ・ 建築関係では、国の長野営繕事務所、県及び19市による「長野県官公庁営繕技術連絡協議会」において、建築系学科の高校生向けに見学会を実施しており、令和元年度は県立美術館の設計者による講演会や現場見学会を実施し、信州大学の学生の皆様にも参加してもらっています。
- ・ また、住宅関係では、「信州木のある暮らし推進事業」におきまして、中学校の技術・家庭科の授業へ大工を派遣する事業を実施しており、若いうちから本物の技術に触れ、進路を定める際に考慮していただけるよう取り組んでいます。本年度は10学校26クラスに派遣しました。
- ・ 引き続き、担い手の確保・育成に向けた取り組みを実施してまいりたいと考えています。
- ・ また、外国人労働者の雇用に関しては、長野県では、新たに外国人材を受入れる企業等を支援するため「長野県外国人材受入企業サポートセンター」を設置しています。

質問 2

BIMの活用について（行政の考え方、活用事例）

回答

- ・ 今後、BIMに関する取組を進めるにあたり、県内の現状を把握しておく必要があることから、県では、県内の建築関係の設計・施工者団体のご協力を得ながら、令和3年6月～7月までの2か月間に、県内の設計・施工会社3社、設計事務所4社の計7社から、ヒアリングを実施しました。
- ・ ヒアリングに続いて、令和3年8月～9月にかけて、県内建築関係11団体のご協力を得ながら、BIMに関するアンケート調査を実施し、157者の皆様からご回答をいただきました。
- ・ BIMを導入している企業は25社で、回答があった者の約16%でした。
- ・ 導入した背景としては、「業務の質の向上を期待した」、「業務の効率化を期待した」、「顧客へのプレゼンテーションに用いるため」との回答が多数を占めました。
- ・ また、導入に至らない理由としては、「CAD等で現状問題なく業務を行うことができているため」、「業務をBIMに切り替えた場合、習熟するまで業務負担が大きいため」、「発注者からBIM活用を求められていないため」等の回答が多くありました。



顧問県議と行政の懇談会

- ・結果については、現在、県の建築住宅課及び施設課のホームページに掲載しております。
- ・県では、現在のところBIM活用を指定して発注した設計や工事はありませんが、ホクト文化ホールの天井改修工事ほかでは、受注者(工事監理者である設計者)が独自で部分的にBIMを活用し、構造部材とダクト等の設備機器の干渉の有無等の詳細検討を行った事例があります。
- ・また、今年度、発注済の「県庁本館棟省エネ化可能性調査等業務」において、先行的な取組みとして、「成果品の作成にあたりBIMを積極的に使用することを検討すること」としており、業務を進める中で、どのような使い方や利用ができるか等も含めて検討・検証していきたいと考えています。
- ・国においては、「長野第一地方合同庁舎」の新営設計業務においても、一貫したBIM活用に向けた試行が行われるなど、各種試行が始まっているとお聞きしております。
- ・大きな流れとすれば導入を進める方向になると考えていますが、アンケート調査によれば、全国に比べまだまだBIMの導入が進んでいない状況ですので、関係者の状況もお聞きする中で、また、国や他県の状況も参考にしながら、本県の実態に合った活用方法を検討していきたいと考えています。

質問 3

特定化学物質障害予防規則(特化則)等の改正に伴う屋内作業における金属アーク溶接作業規則に関して、企業への負担軽減要望。

回答

- ・「溶接ヒューム」について、労働者に神経障害等の健康被害を及ぼすおそれがあることが明らかになったことから、厚生労働省により、労働安全衛生法施行令、特定化学物質障害予防規則(特化則)等が改正されるとともに新たな告示が制定され、令和3年4月1日より施行(一部は経過措置により令和4年4月1日より施行)されました。
- ・全体換気装置による換気等や溶接ヒュームの濃度測定とその結果に基づく換気装置の風量の増加その他必要な措置や再度測定に結果に応じた有効な呼吸用保護具の使用が求められることとなります。
- ・現状では、県からの補助等は難しいところですが、労働者の健康被害の防止について、事業者の責務として対応をお願いします。



顧問県議と行政の懇談会

質問4

今後の県発注物件の見通し

回答

- ・令和10年(2028年)開催予定の第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会の開・閉会式場及び陸上競技会場に予定されている「松本平広域公園陸上競技場」建て替え事業については、昨年(R3)7月に基本設計が終わり、現在、実施設計中(設計者:AS・昭和設計共同体、委託期間:本年(R4)9月まで)。
- ・仮設工事や既存競技場の解体工事を先行させ、本体はその後(R5年度)に工事を発注していく見込みです。
- ・その他、県立高校の第二期再編に伴い、施設整備が行われる予定。実施時期や対象については、今後、教育委員会からの情報提供を受け、連携しながら施設整備に係る発注等を行っていきたいと考えています。

質問5

県として、建設現場や各企業に向けてのSDGsへの取組み。

回答

- ・県においては、総合5か年計画である「しあわせ信州創造プラン2.0」に沿った施策を進めており、計画自体は「SDGsの達成に

寄与するもの」という位置づけにもなっています。

- ・県では、「長野県SDGs推進企業登録制度」を設け、関係団体等と連携しながら、企業等が経営戦略としてSDGsを活用することを支援する制度を創設しました(R4.1.11現在で建設業関係の登録数:359件)。
- ・また、令和4年度以降、長野県の入札参加資格審査における新客観点数の算定において、「長野県SDGs推進企業登録制度」の登録があれば加点の対象とされました。
- ・予算関係でも、事業ごとにSDGsとの関連が示されています。
- ・例えば、令和3年度の建築・住宅関係では、「公共施設耐震対策事業」が目標11に関連し、「県営住宅「5R」プロジェクト推進事業」が目標10と11に関連し、「信州健康エコ住宅普及促進事業」が目標7、8及び13に関連しています。それぞれの施策がSDGsの17の目標に関連付けられています。

- 8:働きがいも 経済成長も
- 9:産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10:人や国の不平等をなくそう
- 11:住み続けられるまちづくりを
- 16:平和と公正をすべての人に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

顧問県議と行政の懇談会

質問 6

「働き方改革」に関して、現場休業の実施状況。

回答

- ・建設業関連でも、建設業法ほか関係法令の改正が行われ、働き方改革や更なる生産性の向上等が求められています。
- ・働き方改革の面では、週休2日工事の更なる推進を図るため、令和2年10月以降、施工者希望型においても、予定価格から週休2日工事を達成した場合と同等の経費等の補正を行って工事を発注し、未達成の場合には達成度に応じて減額措置を実施しているところです。
- ・建築関係の工事におきましても徐々に採用が増加してきており、令和3年9月末の時点で、建築関係の竣工した工事で累計37件となっています。
- ・今後更に制度が活用され、業界における週休2日の実施が当たり前となり、働き方改革が推進されますよう、皆様にも御協力をお願いします。



質問 7

県として、下請取引等実態調査実施の有無と、現状把握。

回答

- ・県では、「長野県建設工事元請・下請関係適正化指導要綱」を定め、県が発注する建設工事において、元請・下請関係の適正化を図るため、会計局契約・検査課において、必要に応じ調査を実施しているところです。
- ・この調査は、請負契約の適正化、下請負人の保護及び適正な施工体制の確立等に関する関係法令等の遵守事項について、元請負人、下請負人又は県発注機関の長に対して、遵守状況を確認調査し、必要な指導、助言を行うことによって、元請・下請関係の適正化及びトラブルの未然防止を図ることを目的としています。
- ・また、会計局契約・検査課及び県下4地区の会計センターでは、元請・下請けに関する相談窓口「下請け110番」を設けて、元請・下請間に関する相談において、事実関係を調査し、県の発注機関や元請負人及び下請負人に対し、関係法令等の遵守事項に基づいた指導・助言を行っています。

長野県建設工事元請・下請関係適正化指導要綱に基づく元請・下請関係適正化調査実施件数

(単位：件)

区分/年度	H28	H29	H30	R1	R2
元請負人への調査	302	307	319	304	243
下請負人への調査	523	466	506	498	523

組合員だより

南信支部組合員だより



南信支部
宮下 健

～不変なもの～

昨年はコロナ禍ではありましたが、多くの方々と接する機会が有りました。昨年8月から12月まで5回に渡り伊那市社会福祉協議会さんの主催の「伊那市カレー大作戦」にボランティアとして参加させて頂き、自身で420食の配食を経験させて頂きました。子どもは無料・大人は300円と成りますが、300円分はカレーを提供している飲食店の売上と成りますので、コロナ禍で困っている飲食店支援として、子どもの分でも大人料金で購入して行く方も多く見えます

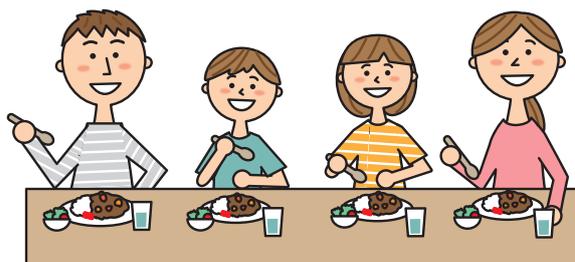
この事業は「子どもも大人も美味しいカレーを食べてお腹いっぱいになり、笑顔になってもらいたい」という思いで取り組んでいます。子ども食堂をご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、その多くは“貧困の子どもが行く場所”と想像してい



るでしょう。これを読んだ組合員の皆様には、本来の子ども食堂の意味をご理解頂きたいと思います。それは「子どもが一人でも安心して行ける場所」との事で、決して食べる事が出来ないから行くのとは目的が違います。

そして困窮・貧困という言葉は、長らく日本の中で使われてこなかった言葉かと思っています。高度経済成長の中で隅に追いやられ、今またコロナや、十数年前のリーマンショックの影響で困窮というものがメディアで取り沙汰されています。貧困というのは古くて新しい問題なのです。リーマンショック後に「生活困窮者自立支援法」というものが出来、「まいさぼ」という生活困窮者の相談を受ける機関ができました。我々業界の人材不足解決糸口にも繋がるかと思っています。興味のある方は最寄りの社会福祉協議会へ相談して下さい。

(次ページへ)



組合員だより

(前ページからの続き)

何故私が、この様な活動に携わっているのか?をお話します。一言でいうなら「道徳心と学ぶ習慣をもつ」為です。すなわち、経営の「経」(自身の経糸)を太くする様なイメージです。体はダイエットに励んでいますが… 経糸が太いか、細いかで同じ経営をしていてもどこかで差が出る訳です。「営」とは周囲をとり巻いて守るための陣屋で、設備的なものと言えるでしょう。

すでに人間は、AI(人工知能)には勝

てません。その様な時代で何を自身の柱(理念)として行くか。それは人として「これだけは間違っはいけない」という当たり前の道徳心だと思うからです。数千年変わらない道徳心はAIの時代に成っても変わらないでしょうし、どんなに時代が変わろうとも、道徳心の柱をもち学習する意欲さえあれば変化に対応できると思うからです。最後に、いつの時代でも自社・他社・業界の利益を互いに喜ぶ様な同業者(組合)でありたいものです。



理事会、委員会だより



正副常任理事会、理事会、各委員会開催状況

(自 令和3年7月1日～至 現在分)

日 時	会 議 名	場 所
令和3年 7月13日	第1回常任理事会	長野市「組合事務所」
〃 7月21日	第1回運営委員会	長野市「組合事務所」
〃 10月22日	第3回技術委員会(反省会)北東信	上田市 「そば茶や 生島の杜」
〃 10月28日	第2回常任理事会	長野市「組合事務所」
〃 11月5日	第3回技術委員会(反省会)中南信	松本市 「ホテルモンターニュ松本」
〃 11月9日	第2回運営委員会	長野市「組合事務所」
〃 11月19日	第3回理事会	長野市 「ホテル メルパルクNAGANO」
〃 12月17日	第1回青年部研修会及び会議	軽井沢町 「長岡鉄工株式会社」



青年部会だより



長野県青年部会
会長 袖山 大和
(株) 飯島工業所

久しぶりの青年部会活動

令和3年に一時収まりかけた新型コロナウイルスも、令和4年になり年末に危惧していたとおりにオミクロン株によって、またまた猛威をふるってきた。はあ～(ため息)

そんな中、一瞬の合間に行った青年部会の活動、新型ペンキ塗装機を紹介してくれるというので行ってきました。

私は新製品が好きで、昔は特に用もないのに電気屋さんに行き新しい携帯電話やテレビ等をチェックしに行ったが、ここ最近家族ができ、自分の時間もろくにもなくなかったので行かなくなった(悲)。

でも鉄工関係の新製品は、みなさんから紹介されたり、持って来てくれた時は、チェックして見るが、いまいちワクワクしないことが多いかも。

しかし、今回の新型ペンキ塗装機は少し心が踊った。

車業界にも使われている方式らしい、うーん！ステキな予感!!!

もし期待どおりなら、うちの社長にも導入してもらおうぞー！

ということで、長岡鉄工さんにおじゃましました。

まずは旭サナックさんから商品の説明があり、期待が膨らむ！おー、これはすごい！！

静電気を使って塗装することによって、時間やコストを大幅に削減できるらしい！

そして実演、・・・んっ！？

なんだか今弊社で使っている塗装機(ウン十年物)よりもいいと思いますよ…、でも…、イヤイヤ、私はペンキをやらない人間だから、その価値が分からないのかも…、NOノォォ～！！、もっと勉強してから来るべきでした。ガクッ！

新製品は欲しいっ～！！！！

うん！、今使っている塗装機が壊れたら考えます！！

場所、商品を提供してくださいました長岡鉄工様、フルサト工業様、旭サナック様ありがとうございました。

結論 バカな私には価値が分かりませんでした…ガクッ！！

欲しがりません、勝つまでは！



Mグレード部会だより



長野県Mグレード部会
会長 奥村 剛
(有)長野奥村製作所

ば、また明るい兆しが見えてくると思いますが、

コロナが収束しましたら、Mグレード部会の事業を再開してまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

再びコロナ感染が拡大し、収束が見ない状況にあります。

今、鉄骨業界は、仕事の減少と材料費の高騰や材料の納期の長期化で、厳しい経営環境にあります。さらには材料の問題が原因で、鉄骨がRCなどの他の構造物へ変更される動きもあるようです。しかし、鉄骨は、構造的・経済的に優れているだけでなく、鉄がリサイクル可能で地球環境にやさしいということで、これからも重要な構造物であり続けると思います。また建築が、一つ一つ違うのと、今後コロナ感染防止のための新しい生活様式に対応していくために、その鉄骨は工業製品のように同じ物を大量生産することが難しいため、我々のように建築物に合わせて細かいところまで対応できる企業は今後も必要とされると思います。しばらくは厳しい状況が続くと思われませんが、鉄骨はこれからも世の中になくってはならないものなので、社会に材料の問題を理解してもらい経営を改善していけ

工場認定申請及び予定状況

工場数：67（内認定工場：49／認定工場：18）（2022年1月1日現在）

○2021年後期の認定申請工場は7社でした。

内訳	Sグレード・・・・・・1社	(株)角藤 鉄構事業部	長野市
	Hグレード・・・・・・1社	富士見鉄工(株)	諏訪郡富士見町
	Mグレード・・・・・・3社	(株)永由鉄工	諏訪市
		(株)三協産業青木工場	小県郡青木村
		昭和興業(株)本社工場	大町市
	Rグレード・・・・・・2社	小松鉄工(株)	諏訪市
		(有)岩井鐵工	諏訪郡下諏訪町

○2022年前期の認定申請予定工場は5社です。

	Hグレード・・・・・・2社	綿半ソリューションズ(株) 飯田第1工場	飯田市
		(株)柳澤鐵工所	佐久市
	Mグレード・・・・・・2社	(株)中島鐵工所	安曇野市
		赤羽鉄工(株)	上伊那郡箕輪町
	Rグレード・・・・・・1社	(有)興研工業	上伊那郡箕輪町

工場審査における新型コロナウイルス感染対策

2021年後期(2022年1月~2月実施分)の工場審査における感染拡大防止対応について

オミクロン株による新型コロナウイルス感染の急拡大が全国で発生し、まん延重点措置の適用拡大を受け、関係者(全鉄評、評価員、調査員、組合事務局、受審工場)と地域の感染拡大状況に基づき協議し、十分な感染防止対策をとったうえで可能な限り審査を実施します。「全員検査することで制限を緩和する制度」として、審査関係者全員が検査を行い陰性を確認する。まん延防止等重点措置の発出した地域は、審査日の3日前までにPCR検査の結果が判明しない場合、厚労省が承認した検査キット(抗原検査)による陰性の「確認」をお願いします。(陰性証明は不要)

工場認定申請及び予定状況

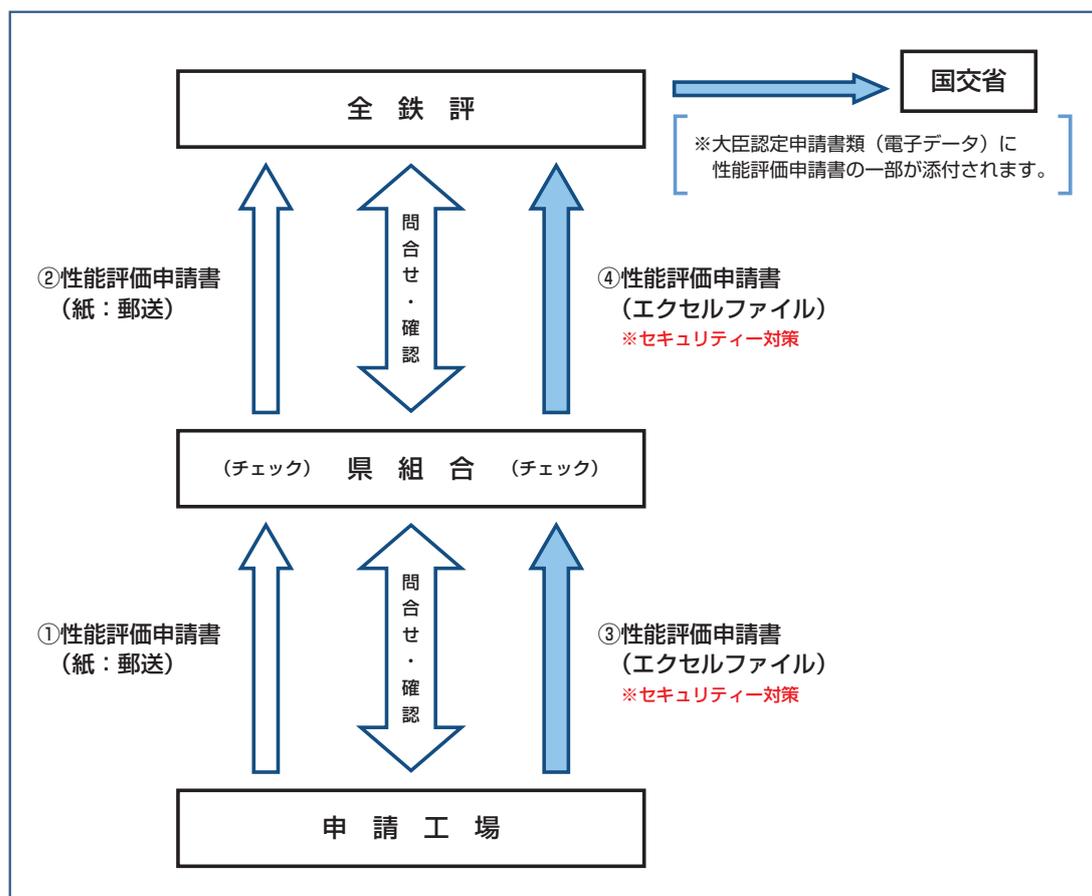
申請書類の電子化

2021年後期申請より電子申請導入開始(Excel 様式)

申請工場が作成する『性能評価申請書類』は、添付資料を含めた一式を新様式のExcelにまとめ、このエクセルファイルに記載頂いた電子データを最終的には全鉄評に提出となります。

これまで通りエクセルファイルを書面(紙)にプリントアウトした申請書類は申請受付期間に組合事務局を通して全鉄評へ郵送は変わりません。全鉄評が書面(紙)に基づき記載内容を確認した後に、正式に最終版として提出して頂きます。

(参考：性能評価申請フロー)



令和3年度前期技能検定について

R3年度 前期 技能検定 試験結果

職種：鉄鋼 作業名：構造物鉄鋼作業

職種/級	科目	総合合格率					講習会受講者合格率					講習会非受講者合格率				
		合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	H31年度 合格率	H30年度 合格率	受講合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	H31年度 合格率	H30年度 合格率	非受講合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	H31年度 合格率	H30年度 合格率
1級	実技	23/38	61%	>	27%	46%	17/25 現5/10	68%	>	32%	56%	6/13	46%	>	10%	25%
	学科	22/28	79%	<	86%	67%	15/20	75%	<	93%	70%	3/4	75%	>	67%	64%
	技能士	23/40	58%	>	32%	44%	16/25	64%	>	44%	44%	7/15	47%	>	18%	38%
2級	実技	10/26	38%	<	55%	65%	4/11 現0/1	36%	<	59%	73%	6/15	40%	=	40%	56%
	学科	20/25	80%	<	95%	89%	4/8	50%	<	100%	91%	10/12	83%	<	92%	86%
	技能士	10/26	38%	<	60%	67%	7/14	50%	<	59%	73%	3/12	25%	<	79%	62%

※今年度はコロナ感染対策の為、長野県内在住者限定での開催となりました。

※各技能士受験者数には実技・学科の片方科目のみ受検、片方科目の受検免除者を含みます。

※講習会受講者には講習会当日欠席者を含みません。

※講習会受講者の技能士については、実技のみ・学科のみの片方受講者及び両方受講者も含みます。

※非講習会受講者の技能士については、実技のみ・学科のみの片方及び両方、講習会当日欠席者も含みます。

職種：とび 作業名：とび

職種/級	科目	総合合格率					講習会受講者合格率					講習会非受講者合格率				
		合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	H31年度 合格率	H30年度 合格率	受講合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	H31年度 合格率	H30年度 合格率	非受講合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	H31年度 合格率	H30年度 合格率
1級	実技	39/46	85%	>	74%	76%	35/37	95%	>	60%	82%	4/9	44%	>	25%	0%
	学科	40/50	80%	>	78%	86%	31/34	91%	>	83%	94%	8/16	50%	>	45%	33%
	技能士	35/48	73%	=	73%	71%	32/39	82%	>	71%	80%	3/9	33%	<	42%	25%
2級	実技	4/8	50%	<	75%	100%	2/2	100%	>	75%	100%	2/6	33%	>	0%	100%
	学科	4/10	40%	<	60%	75%	2/2	100%	>	75%	75%	2/8	25%	>	0%	0%
	技能士	3/9	33%	<	40%	75%	2/2	100%	>	50%	75%	1/7	14%	>	0%	0%

※今年度は人数が多くコロナ感染対策の為、長野県内在住者限定、実技検定は抽選となり、結果7名は実技検定受けられませんでした。

※各技能士受験者数には実技・学科の片方科目のみ受検、片方科目の受検免除者を含みます。

※講習会受講者には講習会当日欠席者を含みません。

※講習会非受講者の実技・学科は片方科目を講習会当日欠席した者も含みます。

組合からのお知らせ

【令和3年度長野県卓越技能者知事表彰】

表彰式は令和3年11月2日長野ホテル犀北館にて行われました。

○赤羽 廣治 様 (赤羽鉄工株)

【令和3年度長野県職業能力開発協会長表彰技能振興促進功勞 (技能検定員)】

表彰式は令和3年11月2日長野ホテル犀北館にて行われました。

○一ノ瀬 徳雄 様 (株一ノ瀬鐵工所)

○小林 弘幸 様 (富士見鉄工株)

【令和3年度長野県職業能力開発協会長感謝状 (技能検定補佐員)】

感謝状が贈られた。

○依田 孟 様 (有依田鉄工所)

○内田 聡 様 (有内田工業)



「信州の名工」を授章して

赤羽鉄工株式会社
代表取締役 赤羽 廣治

昨年11月、令和3年度長野県知事表彰「信州の名工」授章致しました。授章に際しましては皆様方のおかげと固く信じている所存で居ります。改めまして感謝申し上げます。

授章が採択された折、まさか私がと思った次第であります。しかし報道関係者や周りの方々から御祝いの言葉や激励の御言葉を頂くにつけ、日に日に責任と授章の重さに気付き始めたのが正直なところ です。

これからも後継者が決まるまでは現役を遂行し、健康に留意し益々研鑽の日々を過ごす所存であります。どうか今まで通りの御指導と御鞭撻の程宜しく御願ひ申し上げます。

尚、推薦にあたり、当組合の富島克洋(南信支部長)、倉科賢三(中信支部長)、また組合事務局の府中様、藤森様には大変な御尽力を戴きました。鐵構事業協同組合無くして授章は無かったと確信しました。ここに感謝の意を表します。有難うございました。

飯島理事長をはじめとする組合員の皆様、事務局の皆様の益々の御活躍と御健康を心より御祈り申し上げます。

組合からのお知らせ

事務所移転のお知らせ

このたび昨年末より組合事務局の事務所の移転を検討しておりましたが、理事の皆様のご承認も頂き、ご縁がありまして新しい場所に移ることとなりました。

当組合は、広い長野県全域に組合員さんがいらっしゃることから、事務所の移転候補として車でお越しの方の高速道路のインターのアクセスの良さ、性能評価等の評価員をお招きする為に新幹線等の都心部とのアクセスの良さ、更には県関連の団体の近くなどの条件があります。

更には組合員さんの各種会合の開催する場合の駐車場の確保、使える会議室スペースなど必要となります。それら全ての条件をクリアし現在の事務所よりも築年数も新しく、家賃も30年前に現在の事務所を借りた頃に比べ組合員数の減少分も考慮し今までより経費削減できる物件、今回ご縁があり新しい事務所を見つける事ができました。

新事務所については正式に契約を交わしたところで皆さんにお知らせさせていただきます。

新事務所への引っ越しですが、3月中旬を予定しております。3月14日～17日までは引っ越し期間として事務局は片付けにて事務作業含めお休みさせていただきます。その間、組合員さんには大変ご迷惑をお掛け致しますが宜しくお願い致します。組合事務局よりお知らせでした。



組合からのお知らせ

○訃報

株式会社中島鐵工所会長の御母堂 中嶋 五百子様
が7月11日100歳でご逝去されました。ここに謹んでご
冥福をお祈りいたします。



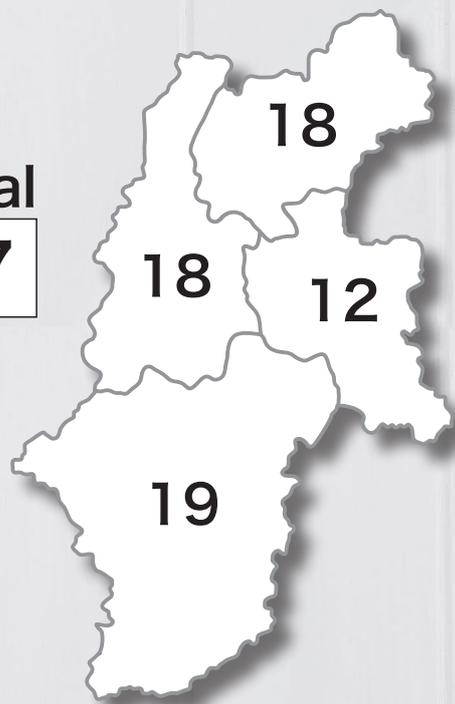
組合員の動き **NOW**

現在組合員数は67社です。

- 北信支部 18社
- 東信支部 12社
- 中信支部 18社
- 南信支部 19社

(2022年1月1日現在)

Total
67



編集にあたって

2022年 新たな年を迎え、令和も4年目に突入しました。

年末年始を含めこの冬は冷え込みも厳しく、また北信地方を中心に雪の日が続き、久しぶりに冬らしい冬となっております。

国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてからとうとう2年が経過しました。今また、感染力が非常に強いオミクロン株によって第6波に突き進んでおります。残念ながら今回も『顧問県議と行政との懇談会』は開催を見送りました。

今年は諏訪大社の御柱祭と善光寺御開帳が予定されております。コロナ終息の願いも空しく、もう神様仏様に縋るしかないですね。ご利益に与り、良い年にしましょう。

運営委員長
(株)青木鐵工所 青木 光幸

表紙のことは

冬の楽しみといたらスキーやスケートなどのウインタースポーツですが、今回は一味違った冬の楽しみをご紹介します。飯山市の『かまくらの里』です。高さ3m程の巨大なかまくらが20基ほど作られているのですが、中は意外と暖かく地元の食材を使ったのろし鍋を食べることができます。また、夜には明かりが灯り幻想的な雰囲気になります。

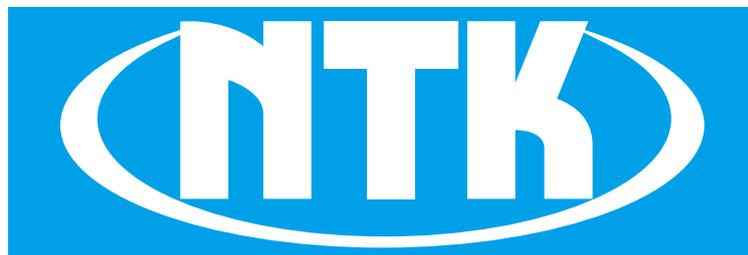
この巨大なかまくらは膨らませた大きな風船に除雪機で雪を吹き付けて、雪を固めた後に風船を抜いて作るそうです。

普段は厄介な雪ですが、少し気分を変えて雪を満喫しに来ませんか？2月27日まで営業しています。

写真提供者
(有)アオキビルド 青木 久隆

安全・安心

建築鉄骨は品質保証の時代



当組合のNTKマークが安全・安心の目印です。

長野県鐵構事業協同組合

長野市若里7丁目11番8号 坂田ビル3F TEL 026-228-5748 FAX 026-228-0590